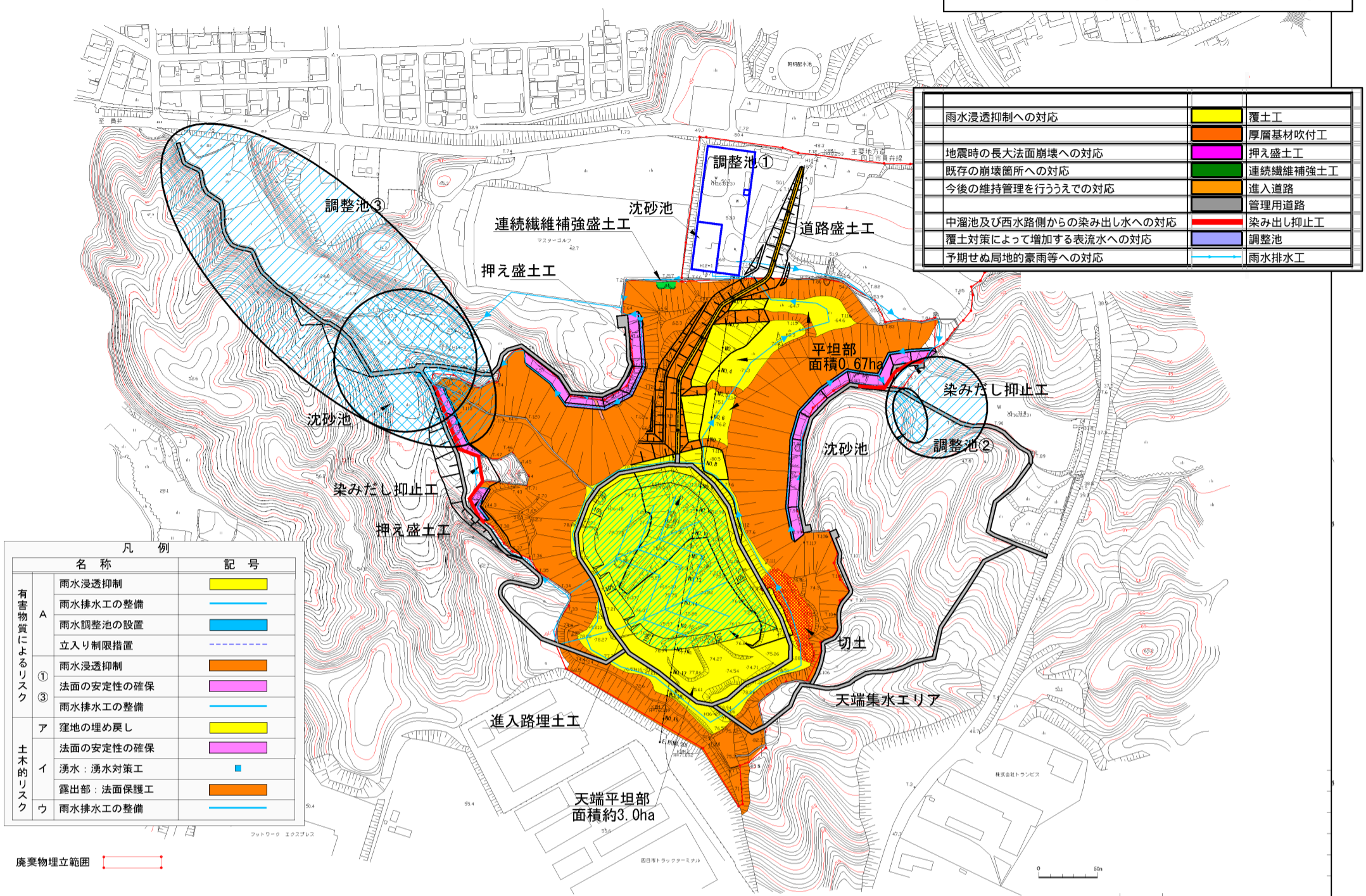


# 具体的な対策工法

全体計画平面図 S=1:1000

平成24年7月12日  
第14回四者協議配布資料



雨水浸透抑制への対応	覆土工
地震時の長大法面崩壊への対応	厚層基材吹付工
既存の崩壊箇所への対応	押え盛土工
今後の維持管理を行ううえでの対応	連続繊維補強土工
	進入道路
	管理用道路
中溜池及び西水路側からの染みだし水への対応	染みだし抑止工
覆土対策によって増加する表流水への対応	調整池
予期せぬ局地的豪雨等への対応	雨水排水工

凡例		
名称	記号	
有害物質によるリスク	雨水浸透抑制	黄色塗り
	雨水排水工の整備	青線
	雨水調整池の設置	赤線
	立入り制限措置	点線
①	雨水浸透抑制	オレンジ塗り
	法面の安定性の確保	紫塗り
	雨水排水工の整備	青線
③	雨水浸透抑制	オレンジ塗り
	法面の安定性の確保	紫塗り
	雨水排水工の整備	青線
A	窪地の埋め戻し	黄色塗り
	法面の安定性の確保	紫塗り
	湧水：湧水対策工	青線
イ	露出部：法面保護工	オレンジ塗り
	雨水排水工の整備	青線
ウ	雨水排水工の整備	青線

平成24年7月12日  
三重県環境生活部

主な地元意見	対策の基本的な考え方	具体的な対策工法
雨水浸透抑制への対応	覆土工対策によって、雨水浸透抑制を行う。 なお、覆土構造については、ある程度浸透を許容する構造とするか、完全に雨水を遮水する構造とするか、今後、検討する。	覆土工 (約3.7ha)
地震時の長大法面崩落への対応	法面の崩壊には、表層崩壊と地すべり崩壊があり、表層崩壊へは、厚層基材吹付工、地すべり崩壊へは、押え盛土工で対応する。 また、地震時における法面の安定性も確保する。	押え盛土工 (約0.5ha) 厚層基材吹付工 (約6.7ha)
既存の崩壊箇所への対応	地形状況及び施工性を考慮した崩壊対策を実施する。	押え盛土工 (約0.5ha: 再掲) 連続繊維補強土工 (約0.01ha)
今後の維持管理を行ううえでの対応	対策後の維持管理を行うため、管理用道路を設置する。	管理用道路工 (約3,000m)
中溜池側及び西水路側からの染みだし水への対応	地質構造等を踏まえて、染みだし水を抑止する対策を実施する。 ただし、染みだし水抑止工の設置箇所や設置深さ等については、今後、学識経験者間で検討する。	染みだし抑止工 (中溜池側約70m) 染みだし抑止工 (西水路側約140m)
覆土対策によって増加する表流水への対応	処分場に降った雨水については、雨水排水工によって、適切に調整池に放流し、調整池で洪水調整を行う。(最大雨量148.9mm/hを想定) 雨水排水量の配分については、処分場設置前(1961年)の分水嶺及び当時の地形状況等を考慮して検討した。	調整池 (3カ所) 雨水排水工 (約4,000m)
予期せぬ局地的豪雨等への対応	予期せぬ局地的豪雨等に対応するため、天端部の雨水を集水し、一気に流出しないよう集水した雨水を徐々に下流に流すような機能を確保する。	天端部集水機能の設置 (約1.6ha)
対策実施後の管理対応	対策後の管理計画を定め、適切に管理していく。 具体的な内容については、今後、検討する。	

なお、数値については概算の数値であり、詳細設計の段階で確定することになります。